

第18回



日本アディクション看護学会学術集会

18th Annual meeting of the Japanese society for Studies in Addiction Nursing

アディクション看護の発展

～ 伝統の継承と新たな挑戦 ～

2019年 6/29(土)・30(日)

帝京科学大学7号館 東京都足立区千住桜木1-11-1

大会長: 吉岡幸子 帝京科学大学
医療科学部看護学科教授

事前参加申込締切 4月19日(金)

一般演題募集期間 1月1日(火)～4月10日(水)

交流集会募集期間 1月1日(火)～3月15日(金)

プログラム

6月29日(土)

- 大会長講演: 吉岡幸子(帝京科学大学教授)
「アディクション問題と向き合うことの意味」
- 基調講演: 徳永雅子(徳永家族問題相談室室長)
「地域の中でのアディクション問題」
- 特別講演I: 樋口進(久里浜医療センター院長)
「行動嗜癖: 概念、診断、治療」
- 教育講演I: 吉岡隆(こころの相談室リカバリー代表)
「共依存症からの回復」
- シンポジウム1: 山谷の今、看護の役割を考える
- シンポジウム2: 子ども虐待とアディクション
- 絵本朗読: 北野陽子・細尾ちあき
「ボクのことわすれちゃったの?」
絵本を通して子どものサポートを考える
- 一般演題・交流集会・情報交換会

6月30日(日)

- 特別講演II: 斎藤環(筑波大学医学医療系教授)
「オープンダイアログとアディクション」
- 教育講演II: 成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター副病院長)
「依存症の治療支援に大切なこと ～臨床現場からの報告～」
- 教育講演III: 森田展彰(筑波大学医学医療系准教授)
「様々な依存症の家族支援」
- ワークショップ: 瀬在泉(防衛医科大学校准教授)
「動機付け面接の理解を深める」
- シンポジウム3: 当事者の語りから何を学ぶか
- シンポジウム4: 一般科病院における依存症支援を考える
- シンポジウム5: 依存症専門病院の新たな看護の取り組み
- 一般演題・交流集会・総会

参加費

事前参加申込: 会員7,000円、非会員8,000円
学生・当事者・家族2,000円
当日参加申込: 会員8,000円、非会員9,000円
学生・当事者・家族3,000円

【事前参加申込】4月19日(金)まで

ゆうちょ銀行振込先口座

記号番号: 00100-6-487604

加入者名: 第18回日本アディクション看護学会学術集会



【学術集会事務局】 帝京科学大学医療科学部看護学科

〒120-0045 東京都足立区千住桜木2-2-1

TEL: 03-6910-1010(代表) Email: jaddict18@ntu.ac.jp <http://plaza.umin.ac.jp/~jaddict18>

